

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和元年9月25日 午後7時00分から午後8時35分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、掛川晴一委員、金井修一委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、城下晃代委員、高橋みち子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、山岸誠委員 【欠席委員7名】
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、宮越教育事務所長、佐藤市民サービス課長、宮山地域健康推進担当係長、滝沢産業建設課長、内堀建設管理担当係長、田中担当幹 宮澤市民参加・協働推進課長、内藤地域内分権推進担当係長 山田交通政策係長、峯村主任 坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	2人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月19日

協 議 事 項 等

1 開会(大草副会長)
2 あいさつ(池内会長)
3 情報提供 (1)千曲バス「路線の廃止・休止・減便」の申し入れについて(交通政策課) ・千曲バスからの路線の廃止・減便についての申し入れの経過と背景、今後の流れについて説明
4 協議・報告事項 (1)地域協議会の見直し(案)について(意見聴取) ・地域協議会の任務、設置単位及び委員数の見直し(案)について市民参加・協働推進課から説明 【質問・意見等】 (委員)現在、地域協議会について指摘されている課題について、人員不足がいちばんの課題ではないかと思うが、他の課題について今後どう考えていくか。 (市民参加・協働推進課)上田地域の6協議会は、人員不足以外の課題も指摘されている。1つ目として、地域協議会と住民自治組織の活動の違いが分かりづらいということ。住民自治組織では地域課題を調査研究したうえで地域まちづくり計画を策定しているため、調査研究については住民自治組織の任務になっているのではないかという意見をいただいている。2つ目として、上田の6地域では中央を除く5協議会で調査研究がされておらず、地域によってはわがまちの審査で年3回しか開催していない地域がある。3つ目として、委員の出席負担が大きいということ。特に地区自治会連合会推薦の委員(自治会長)は、年数百回を超える会議に出席しているとのことで、自治会連合会からも負担軽減について意見をいただいている。以上の点から、上田地域の協議会数の見直しを提案させていただいた。また委員数については、これまでは必ず20人選出していただくようお願いしていたが、地域の実情に応じて20人以内とする提案である。 (委員)住民自治組織の取り組みが本格化し、地域協議会の設置目的が、それに代わるようになってきた。将来的に地域協議会の役割が終息していくのではないか。 (市民参加・協働推進課)そうした意見もいただいている。先進地では条例等により住民自治組織が地域

協議会に代わっている地域もあるが、上田市では現状のままとする予定である。今後、住民自治組織の活動が本格化していく中で、地域協議会のあり方については再度検討することになる。

(会長)現状では地域協議会に代わる任務を遂行する組織はないと思うが、任務の一部は住民自治組織が担っていく体制ができつつあるのではないかと思う。今回は協議会数と人数の見直しだけだが、いずれ任務についても議論が必要になってくるのではないかと思う。

(市民参加・協働推進課)現在、各地域協議会で説明を行っているが、上田地域の中でもさまざまな意見が出ており、設置単位については条件付きの意見が出てくる可能性がある。すべての協議会での意見聴取が終了したところで、内容を精査して市の考えをお示ししたいと考えている。

(委員)合併後もそれぞれの地域の個性を生かすために地域協議会を設置したのではないか。委員の多くは団体推薦であるため、適任者であっても任期の関係で委員に残れないケースもあり、選出方法の見直しも必要ではないかと思う。地域協議会は、住民自治組織とは権限が違うため必要だと思う。住民自治組織はさまざまな場面で活躍しているが、必要性や役割を今後どうしていくのか、また地域協議会との違いを明確にした方がよい。

(市民参加・協働推進課)住民自治組織のあり方については、他の地域協議会や住民自治組織からも様々なご意見をいただいているため、市としても引き続き、住民の皆さんにわかりやすく説明していきたいと考えている。

(会長)行政からの投げかけにより武石地域でも住民自治組織が立ち上がった。投げかけられたものを受け取ったのだから、住民自治組織自身も今後どうしていくのか考えていかなければいけない。

(市民参加・協働推進課)市としても本日いただいたご意見をしっかり受け止め、検討していきたいと考えている。

## (2) 武石地域の乳幼児健診統合について(報告)

・武石健康センターで実施している乳幼児健診を丸子保健センターで実施している健診に統合することについて、市民サービス課から説明

(委員)健診を受ける保護者の皆さんの意見はどうか。

(市民サービス課)昨年、健診時に保護者の皆さんに意見を聞いたところ「しかたがない」「同じ月例の子を持つ保護者に会えた方がよい」という方が多く、「どうしても武石で実施してほしい」という方はいなかった。

(委員)いつから実施するのか。

(市民サービス課)来年度から実施する。

(委員)丸子保健センターでは、毎月健診を実施しているのか。

(市民サービス課)各月齢の健診が毎月行われている。

## (3) 武石地域の「公共交通」について

・昨年度、市政三者懇談会で武石地区自治会連合会が提出した議題：上田市立地適正化計画における公共交通機能のあり方についてセンター長から説明

(会長)住みよい武石をつくる会の健康福祉部会実施のアンケート結果をいただいているが、部会での協議が未実施のため、本日は口頭でのみ説明する。高齢者クラブの会員 546 名に依頼し、401 名(回収率 73%)から回答があった。回答者およそ 400 名のうち、現在運転している人は 75%、デマンド交通を利用したことがある人は 24%で、運転している人はほぼデマンド交通を利用したことがないことがわかる。将来、運転できなくなった時の移動手段としては、家族への依頼 38%、デマンド交通 33%で、

将来的に公共交通の足としてデマンド交通が必要とされていることがわかる。来月の協議会では、資料が出せると思う。健康福祉部会でもこれから協議が行われる予定である。場合によっては関係機関とも検討を行い、デマンド交通についての改善点が固まってくれば、市へ意見具申をする方向で持っていきたいと考えている。

#### (4) その他

(会長) 雲溪荘のサウンディング調査についてお聞きしたい。市ホームページで内容を確認したが、応募してきた1社が採用に至らなかった経過をお聞きしたい。

(産業建設課) サウンディング調査は、民間から意見を聞くことが目的であり、すぐに民間へ譲渡するという前提ではない。ただし、サウンディングの結果によって、意欲ある民間事業者から経営可能との申し出があれば、中長期的に譲渡という話もでき参考にさせていただくということで実施した。市としても初めての試みであり、応募は1社であった。事業者名とノウハウについては非公開となっており、重要な部分は公開されていない。今回、サウンディング調査では、今後市で管理運営していく中で民間の皆さんからのお知恵、民間で経営する場合、どう運営していくかということをお聞きした。応募された1社は経営に前向きであったが、「譲渡されても今後施設を維持管理できないため借りたい」「今のような地域住民や上田市民が安価な価格で利用するのは難しい」「雇用面で現従業員をそのまま雇用するのは難しい」とのことで、規模を縮小しながら経営していくことは可能といった内容であった。このような対話の中で検討した結果、短期的には民間事業者に経営をお願いするのは難しいという判断で、次の指定管理についても非公募での方向で手続きを進めている。

(会長) 委員の皆さんも一度ホームページでサウンディング調査の結果について、確認いただければと思う。雲溪荘を使って残す取り組みをしていくため、団体や自治会への呼びかけなどをどうやっていけばよいのか、今後行政と相談して進めたい。

#### ・第7回地域協議会の日程について

日時：10月16日(水)午後7時～ 台風19号の影響により11月に延期

#### 4 閉会(大草副会長)